

平成28年度神戸市当初予算に対する

要 望 書

平成27年11月

民主こうべ政策議員団

# 目 次

平成28年度神戸市当初予算に対する要望 ..... 1

民主こうべ政策議員団（名簿）

重点要望 ..... 4

## 局別要望

市長室 ..... 6

危機管理室 ..... 7

企画調整局 ..... 8

行財政局 ..... 10

市民参画推進局 ..... 11

保健福祉局 ..... 13

こども家庭局 ..... 17

環境局 ..... 19

産業振興局 ..... 21

建設局 ..... 24

住宅都市局 ..... 26

みなと総局 ..... 28

消防局 ..... 30

水道局 ..... 31

交通局 ..... 32

教育委員会 ..... 33

県との連携 ..... 36

# 平成28年度神戸市当初予算に対する要望

一昨年第16代久元神戸市長が誕生し、新しいステージへと市政運営を推し進めようとされている中で、阪神・淡路大震災から節目の20年を迎え、久元市政2年目となる平成27年度当初予算は編成されました。『輝ける未来創造都市の実現に向けて』をテーマに「安定した成長軌道に乗せて行く」ことを政策の基本として様々な取り組みが進められており期待しているところです。

少子・超高齢化の進展は、各都市共通の課題ですが、神戸市においても、平成23年度より人口減少の傾向が始まりました。また、近年、世界経済情勢には不透明感が増しており、企業収益や個人所得の動向にも影響が大きく、神戸を取り巻く経済情勢は決して楽観視できない状況にあります。さらに、動かすことはないと言われている平成29年春からの消費税10%の引き上げは、市民生活に影響を与える事も不安視される所であり、市内の中小企業を含め、国内実質経済成長に陰りが生じるのではと懸念されます。

こうした社会・経済情勢の下、新しいステージに向かうためには、まず財政基盤を確固たるものとする事は喫緊の課題です。一般会計決算は4年連続で単年度黒字となっていますが、新たに平成28年度から「神戸市行財政改革2020」を推進されることは、大いに評価すべきであると考えます。

財政基盤を固めることと同時に、神戸の安定した成長力を確保するためには、地方創生・子育てしやすい環境の創出・企業誘致・雇用創出・福祉の充実・将来を見据えた「都心の再整備」など、神戸独自の施策が急務であると言えます。

また、今後発生が予測される南海トラフ巨大地震や、近年、市内でも土砂災害など被害が続出している局地的豪雨などの災害から、大切な市民の生命・財産を守るための対策も急務であり、阪神・淡路大震災を経験した神戸だからこそ、「災害に強い神戸」として、他都市に先駆けた取り組みを行っていくことも重要な命題であると考えます。

市内開催行事では平成28年は伊勢志摩サミットの保健大臣会合が予定されており、平成29年1月には神戸港開港から150年を迎えます。神戸と共に発展を続けた港を世界中に発信し、広く知っていただき、神戸港の新しいスタートとして頂くと共に、今後迎える「2019年ラグビーワールドカップ」「2020年オリンピック・パラリンピック」「2021年関西ワールドマスターゲームズ」の成功へと繁げていって頂きたいと考えます。

市長就任後、「未来創造都市の実現に向けて」神戸の将来を見据えた戦略的な予算編成がなされているところですが、上述の課題に迅速かつ果敢に取り組み、さらに神戸らしさを充分発揮できるような予算編成が行われることを要望いたします。

## 民主こうべ政策議員団



藤原 武 光  
(垂水区選出)

相談役  
文教こども委員会委員



池田 りんたろう  
(北区選出)

団長  
総務財政委員会委員



川原田 弘 子  
(垂水区選出)

幹事長  
企業建設委員会委員



岩田 嘉 晃  
(西区選出)

政務調査会長  
都市防災委員会委員



人見 誠  
(北区選出)

副政務調査会長  
総務財政委員会副委員長



大井としひろ  
(須磨区選出)

産業港湾委員会委員



川内清尚  
(垂水区選出)

福祉環境委員会委員



平木博美  
(中央区選出)

都市防災委員会委員長



永江一之  
(灘区選出)

文教こども委員会委員

# 重点要望

## 1. 医療産業クラスターの形成が進む医療産業都市の街

- 保健大臣会合が神戸で開催される事が決まった、この機会を好機ととらえ医療産業都市のクラスター進展を国内外に発信すると共に、高度専門病院と連携した国際医療交流の推進や、関連産業との連携によるさらなる医療産業の誘致や発信、神戸経済の活性化と市民福祉向上に努められたい。
- 先端医療の市民への提供を推進し、関連産業や機関の発展にも繋げていくため、神戸アイセンターを推進されたい。

## 2. 三宮駅周辺地区の再整備による賑わいのある街

- 近年、都市間競争が激化加速し、兵庫県内でも駅周辺の再開発により人の流れに変化が生じ、神戸も集客が喫緊の課題となっている。先日定められた神戸の都心の『未来の姿』（将来ビジョン）をもとに、観光客誘致を含めて国際都市神戸にふさわしい計画を策定し、早期に段階的に実行に移されたい。
- 三宮周辺の再整備にあたっては、新神戸駅とポートアイランド・神戸空港の交通体系は将来の神戸の都市機能と位置付け、再整備に取り組まれたい。

## 3. 市民と観光客が魅力を感じる街

- 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタースゲームズの開催に合わせ、国内外に神戸の魅力や情報を発信し、スポーツ産業や観光産業の誘致に努められたい。
- 神戸港開港150年を迎えようとしているが、クルーズ船の入港は伸び悩んでいる。友好都市への発信もさることながら、この機会に発信事業を具体的に推進し、早期に見える形で取り組んでいただきたい。

#### 4. 子育てしやすい街・元気な活動シニアの街

- 「子ども・子育て支援制度」の実施にあたり、保育の量的拡充や質的改善を図ると共に、一時保育や病児・病後児保育などの事業は子育て世帯に不安を与えないよう拡充に取り組んでいただきたい。
- 「放課後子ども教室」「学童保育」を一体的に連携して取り組む「放課後子どもプラン」を充実させ放課後施策の充実を図られたい。
- 元気なシニア世代の活躍の場、就労を希望されるシニア世代に加え、ボランティアの中間的な働き方、有償ボランティアを望まれる世代のニーズに応え、シルバー人材センターの強化や、NPO の設立促進などに取り組まれたい。

#### 5. 農業・水産業に重点を置いて、環境共生できる街

- 県下でも都心に近い場所に有数の大きな農・漁業産業をもっていることから、神戸ブランドの強化を図ると共に、抱える課題に取り組み、地産地消・加工や販売にも繋がる産業として活性化に取り組まれたい。
- 産業の裾野の広い水素エネルギーを支援し、産業の活性化や環境共生社会の実現に向け支援されたい。

#### 6. 住みたい街・働きたい街

- 人口減少時代に入った今、企業誘致に係る各種支援・優遇処置を拡充し、労働力の確保に努め、定住者の増加を図るため居住環境の整備に取り組まれたい。
- 医療・研究機関・教育・子育てなどの充実を図り、安全・安心な社会を構築し移住・定住の促進を戦略的に図られたい。
- 助け合い、思いやり社会の中で子供が育つ環境整備に教育委員会と行政が力を合わせ取り組まれたい。
- 空家対策の条例化に合わせ、特定空家の削減と優良空家の流通拡大に取り組まれたい。

## ◆市長室

### 1. 国際戦略

- (1) 都市間競争に勝ち抜くことを視野に入れ、施策をより積極的に進めていくためにも国際戦略を担う中核の組織を作り、世界で通用する人材を採用・育成し、国際都市神戸の国際戦略を推進されたい。

### 2. 広報

- (1) 広報専門官は、斬新で積極的な広報戦略を国内外に打ち出し、市民に理解される広報の発信に取り組まれたい。
- (2) 市バス・地下鉄の車内に「広報こうべ」のダイジェスト版を中吊り広報するようにされたい。



## ◆危機管理室

### 1. 危機管理体制の充実と安全で安心なまちづくりの推進

- (1) 南海トラフ地震・津波対策については、市民・来街者に対応できる避難経路や一時避難退避所の確保等、危機管理体制の充実に取り組まれない。
- (2) 大規模災害発生に備え、誰にでもわかりやすいピクトグラム表示や多言語表記など避難誘導指示ができるように整備されたい。
- (3) ICT（情報通信技術）を活用した避難者の個人情報管理システムの整備を進め、災害時要援護者支援にも役立てられたい。
- (4) 市民の安全・安心を確保するために、緊急地震速報の受信広報装置のさらなる拡充に努められたい。また、津波被害を想定し、通話性などに優れたデジタル防災行政無線と屋外拡声子局の拡充に努められたい。
- (5) 災害警報・避難情報発令にあたっては、なるべく多くの市民に迅速に正確な情報が伝達されるよう万全を期されたい。
- (6) 毎年発行されるハザードマップを有効活用し、土砂災害危険区域の住民に危険度について実感を持つよう啓発活動に努められたい。
- (7) 土砂災害警戒地域の見直し・レッドゾーン設定に迅速に取り組まれない。
- (8) 津波被害の場合の避難については、周辺の避難所との連携が取りやすいよう、区役所と共に地域での話し合いを進められたい。

### 2. 震災の教訓の継承・啓発

- (1) 阪神・淡路大震災の教訓を風化させないために、防災訓練の充実やシンポジウムの開催、耐震改修の促進などに加え、食糧備蓄、防災安全グッズの備えなど市民の意識を高める啓発活動を継続されたい。
- (2) 震災経験を踏まえた国内外への情報発信に努めると共に、危機管理センターを利用した若年世代の防災体験教育にも一層力を入れられたい。

### 3. その他

- (1) 新型インフルエンザ・デング熱・エボラ出血熱等の発症を想定した対応策をさらに構築し、想定した行動指針に従った訓練を重ね、発生時の感染被害を最小限に抑えるよう備えられたい。
- (2) 道路交通法の改正に伴う自転車の安全走行に関する啓発活動を、学校での自転車安全教室に加え、市民向けも全市的に推進されたい。
- (3) 客引き行為等防止条例については、県と連携し三宮の健全なまちづくりに努められたい。

## ◆企画調整局

### 1. ICT（情報通信技術）推進

- (1) 東京事務所とのテレビ会議など、ICT を効果的に使う工夫をされたい。
- (2) マイナンバー制度導入にあたっては制度内容の市民への周知と個人情報保護対策を徹底すると共に、市民の利便性に資するようさらなるマイナンバー制度・マイナンバーカードの利活用方法を検討されたい。
- (3) オープンデータ・ビッグデータのさらなる活用を図られたい。

### 2. 神戸医療産業都市の推進

- (1) 総合的な医療関係人材の育成に向け、外国人専門人材の言語や文化を考慮した住宅・医療・心身のケアなど生活環境や教育環境の体制整備について検討状況を明らかにすると共に、残された課題について引き続き取り組まれたい。
- (2) 介護リハビリロボットの普及・開発支援・臨床試験体制について、県のロボットリハビリテーションセンターと連携して進められたい。さらに、医療ロボットについても、支援体制を確立されたい。
- (3) 神戸大学の次世代バイオ医薬品の統合拠点について、連携・支援を進められ、バイオ医療薬品の開発・製造が神戸で進展できるよう支援されたい。
- (4) 次世代スパコンの開発体制を、県と連携して進められたい。

### 3. 「デザイン都市・神戸」の推進

- (1) 引き続き一般市民への広報に取り組むと共に、各局と連携しデザイン性の高い施策が実施されるよう取り組まれたい。

### 4. WHO（世界保健機関）神戸センターの役割

- (1) WHO 神戸センターの存在を市民に身近に感じてもらえる取り組みを企画されたい。

### 5. 公民連携

- (1) 民間との情報交換や制度改善などを行い、さらなる連携強化に取り組まれたい。

### 6. 新たな大都市制度の推進

- (1) 「特別自治市」の実現に向けて取り組まれたい。

## 7. 行政組織の見直し

- (1) 総合区制度の導入について検討されたい。

## ◆行財政局

### 1. 行財政改革の推進

- (1) 神戸市及び外郭団体が発注する請負工事などに係る公契約について、公契約条例の制定に向けて検討されたい。

### 2. 適切な職務執行体制と人材育成

- (1) 労務職員も含め職員採用のあり方や人材育成、人事評価のあり方を引き続き検討し、高い組織力を発揮できる職務執行体制の構築に努められたい。

## ◆市民参画推進局

### 1. 広聴

- (1) 緊急時に設置する「災害テレホンセンター」について市民にもっと周知されたい。

### 2. 市民サービスの向上

- (1) 日常生活の中で生じる様々な問題を含めて、総合コールセンターで相談窓口の紹介が出来る体制をつくり、併せてセンターの広報に取り組みたい。
- (2) DVによる被害を受けた親子が安全に安心して面会できる「面会センター」設置に向けて積極的な取り組みを進められたい。
- (3) DV被害者の一時保護にかかる支援の強化と、シェルターを退出後の就労支援や相談体制の強化に努められたい。
- (4) 神戸市生活情報センターを核に、コンシューマースクールの修了者をゲストティチャーとして活用し、消費者教育をさらに充実されたい。
- (5) 「消費者教育センター」については、国の動向もふまえ推進されたい。
- (6) 危機管理室と連携して、「災害テレホンセンター」を設置し、万全の準備を整えられたい。
- (7) 点字ブロック・点字サインの設置拡充に取り組みられたい。
- (8) ICTを活用する事も視野に、区役所の窓口手話対応者の常駐を図られたい。
- (9) 地域活動総合助成金の制度を使いやすいものに変更するよう検討されたい。
- (10) 災害時に区役所が果たす防災福祉機能について、準備を整えられたい。
- (11) 市民の利便性向上に資するワンストップサービスや休日開庁等を、全区役所・出張所に拡充されたい。
- (12) 機能充実のため、スピーディーに地域密着対応のできる組織体制を具体的に検討されたい。

### 3. 地域との連携

- (1) 団塊世代等の積極的活用など地域活動の担い手の育成に努められたい。

### 4. 文化交流

- (1) 神戸文化ホールでの開催プログラムについては市民広報を充実すると共に、出演団体の国との交流を検討するなど工夫されたい。
- (2) 神戸ビエンナーレなどの文化振興事業を継続していくために、市民に積極的に参加してもらえよう、組織体制の見直しも含め市民参画の仕組みづくりに

取り組まれたたい。

- (3) 神戸国際フルーツコンクールを継続されたい。

## 5. 男女共同参画

- (1) 男女共同参画に関する市民・事業者の理解と関心を深めるため、セミナー等の企画についてはさらに工夫し充実させ、広報周知されたい。
- (2) 効果的なワーク・ライフ・バランスの推進策を講じられたい。
- (3) 審議会等の女性委員の比率向上に取り組まれたたい。

## ◆保健福祉局

### 1. 市民の安心づくり

- (1) インフルエンザワクチン・ヒブワクチンなど安全性を十分確認し、疾病予防対策として公費助成の拡大に取り組まれない。
- (2) 小児医療費・妊婦検診費用などに対するさらなる公費助成の拡大に取り組まれない。
- (3) 虐待防止に全力で取り組まれない。高齢者・障がい者・DV（配偶者暴力）など、相談体制の確立、周辺の人が異常を感じた時の連絡体制づくり、警察や医療機関との連携強化に取り組まれない。
- (4) 自殺対策として、ゲートキーパーのさらなる養成や医療機関との連携、いのちの電話への支援等、官民一体となった自殺を未然に防止する体制づくりに取り組まれない。
- (5) 生活保護の不正受給をなくす体制を構築されたい。
- (6) 生活保護世帯の医療保険加入による一部自己負担の導入について、他の政令市と連携しながら国に働きかけられたい。
- (7) 口腔保健条例の制定について、導入を検討されたい。
- (8) 妊婦対象の歯周疾患検診の拡大を検討されたい。
- (9) こうべ市歯科センターへは、歯科診療事業に加え公衆衛生的事業に対しても、十分な財政的支援を行われたい。
- (10) 生活困窮者自立支援法による事業実施は、相談窓口や的確な支援プログラムの策定及び自立と就労支援の充実を、また、貧困連鎖を断ち切る教育支援など、法に基づく事業をフル装備で支援されたい。

### 2. 医療体制の整備・充実

- (1) 救急医療や夜間・休日診療、小児科医療・産科医療の受入れ体制の充実と、最適な配置により、医療従事者の過重労働を改善されたい。
- (2) 市民病院群と地域医療機関との「地域医療連携システム」強化のため、連携する病院の拡大、電子カルテの導入、医療情報の伝達や遠隔医療の推進に引き続き取り組まれない。

### 3. 神戸市立医療センター中央市民病院及び西市民病院の運営

- (1) 地域周産期母子医療センターのさらなる機能充実に努められたい。
- (2) 神戸市西部においても24時間体制の小児救急拠点を早期に整備されたい。
- (3) 安心して子供を産み育てられるよう小児科・産婦人科・助産院・周産期医療

センターの連携による地域医療体制づくりに取り組まれない。

- (4) KIFMEC の支援体制を検討されたい。

#### 4. 高齢者支援の促進

- (1) 介護施設における虐待などにおいて、市へ通報しやすいシステムを構築されたい。また第三者評価や実地指導の情報の市民への見える化に取り組まれない。
- (2) 医療型療養病床や介護型療養病床の整備、介護施設の整備に努めると共に、不足しているリハビリ施設の早急な整備を図られたい。
- (3) 認知症高齢者に対する入所施設整備を促進されたい。また、徘徊 SOS ネットワークなど地域で支える仕組みづくりを拡充され、初期対応が可能な時期に、生活や治療等、自己決定ができるシステムを検討されたい。
- (4) 地域連携による高齢者支援対策の推進に努められたい。特に、徘徊 SOS ネットワーク・見守り・生活支援活動など地域で支える仕組みづくりを拡充されたい。
- (5) 介護保険制度の法解釈が各区で異なることのないよう、解釈に関するガイドラインを策定されると共に、介護予防の推進と、在宅サービス地域密着型サービスの整備を推進されたい。
- (6) 地域包括診療について、超高齢化社会に対応する在宅診療の推進のため、かかりつけ医制度の充実を図られたい。
- (7) 病床機能の再編にあたっては、超高齢化社会を踏まえた、地域包括ケア病棟の充実を努められたい。

#### 5. 障がい者支援の推進

- (1) 障がい者の自立支援・就労支援・親亡き後の生活支援などの拡充に向けて取り組まれない。
- (2) 成年後見制度の活用促進に取り組まれない。
- (3) 知的障がい・身体障がい・精神障がい、それぞれの状況に応じた専門病院及びリハビリ施設をはじめ、学び・働き・生活できる総合施設整備に努められたい。
- (4) ガイドヘルパー養成やボランティア人材育成を行うと共に、登録バンクづくりに取り組まれない。
- (5) 引き続き、重度心身障がい者の東部での通所施設不足に対処されたい。
- (6) 同行援護の標準支給量を超えての利用希望に対して、柔軟に対応されたい。また、標準支給量の時間延長も検討されたい。
- (7) 障がい者理解促進のため、あいサポート運動等の一般市民への取り組みを強化されたい。



- (8) 精神障がい者のグループホームが少ないことから、新規立ち上げ時の助成制度を充実されると共に、精神障害者対象の家族支援にも取り組まれない。
- (9) 障がい者の地域移行を推進するため、グループホーム設置の拡充を支援されたい。
- (10) 精神障がい者の心の健康センターは、当事者や家族及び職場の同僚や隣人が気軽に相談にいける身近な施設に改善されたい。

## 6. 市民福祉・健康の増進

- (1) UD（ユニバーサルデザイン）のまちづくりを引き続き計画的に推進されたい。
- (2) 乳がんや子宮頸がんなど、がん検診の受診率向上及び早期発見に向けて、受診年齢を前倒しする事や検診費用補助の拡充などきめ細やかな検診案内に努め、受診しやすい体制づくりに取り組まれない。
- (3) 市内医師会や病院関係者などとの連携のもと、がん患者の不安解消対策や緩和ケアの拡充及び闘病後の社会復帰、施設整備に努められたい。
- (4) うつ病患者の回復に向けたトレーニングに取り組むNPOを支援するなど、社会復帰の促進に取り組まれない。
- (5) 神戸市がん対策推進条例をふまえ、がん検診の検診率向上及び早期発見に向けて、検診費用補助の拡充やきめ細かな検診案内に努め、受診しやすい体制づくりに取り組まれない。
- (6) 難病指定、治療費の軽減措置、生活支援など難病対策について支援策の拡充を図ると共に、医療機関と連携して公的助成の周知徹底を図られたい。
- (7) 腰痛、膝痛、脳卒中などからのリハビリに関する研究やノウハウの蓄積の促進し、必要な福祉器具が選択できるような福祉機器センターの設立を検討されたい。
- (8) 受動喫煙防止対策の取り組みを一層進め、喫煙場所の見直しや禁煙推進に努められたい。
- (9) 特に青少年への薬物使用を撲滅させる対策の強化に取り組むと共に、使用者の依存症治療に取り組む、更生後の社会復帰支援、健全な社会生活への誘導に努められたい。
- (10) 肝炎ウイルス検診は個別勧奨を進められたい。

## 7. 食品の安全確保

- (1) 食品（輸入も含む）の安全管理、産地偽装食品、遺伝子組み換え、薬物使用表示、放射能検査など検査体制を強化し、市民への情報提供に取り組まれない。

## 8. 在宅ケア・医療システム

- (1) 今後、在宅ケア・在宅医療システムへのニーズ・重要度が増す中、三師会・看護協会・介護関連各団体との連携を強化し、神戸市らしい在宅ケアモデルの確立を目指されたい。
- (2) 在宅ケアに増員が必要となる看護師・保健師・ケアマネージャーの計画的な人員確保に取り組まれたい。
- (3) 地域包括ケアシステムの構築を早期に図られたい。

## 9. その他

- (1) 離職・休職された女性医師や看護師・保健師・薬剤師の再研修制度と復職支援策を検討されたい。
- (2) 虐待、DVの早期発見のため、医療機関の研修を充実されたい。
- (3) 少子高齢化の進展等による墓守の家族関係の崩壊等により、無縁墓になっているケースが増加している。新たな仕組みの検討・対策を練られたい。
- (4) 永代供養墓も視野に入れた墓苑のあり方を検討されたい。
- (5) 地域の担い手不足の解消に努められたい。
- (6) 動物管理センターの施設拡充に取り組み、連携するNPOが活動しやすい環境をつくり、殺処分ゼロに取り組まれたい。

## ◆こども家庭局

### 1. 子育て支援

- (1) 産前産後の健康確認と育児指導・産後ケアの訪問事業の実施、充実に取り組まれない。
- (2) 妊娠・子育て中の不安や悩みが相談できるように、妊娠期からのハイリスク家庭を把握した上で有効な支援策に取り組まれない。
- (3) 保育所・学童保育・小規模保育・家庭的保育等託児施設を整備・拡充されたい。また、就労形態の多様化に対応した保育時間の延長に向けた体制に取り組まれない。
- (4) 待機児童については保育需要の予測を的確に行い、保育所整備計画を立てられたい。併せて、ニーズが増加する病児病後児保育の拡充に努められたい。
- (5) 国の子ども・子育て新システムの動向を踏まえ、幼保連携が促進できるよう各幼稚園、保育園を引き続き支援されたい。
- (6) 障がい児保育については、安全に実施されるように必要な保育士の加配処置を行われたい。
- (7) 学童保育の過密解消と子供たちの放課後の安全な居場所提供に向けて、児童館の整備も含め放課後こどもプランのさらなる拡充に取り組まれない。
- (8) ファミリーサポート制度では、地域で子育てを支えて行く仕組みをさらに拡充されたい。
- (9) 季節里親・週末里親の普及のための広報と養育里親制度の充実に取り組まれない。
- (10) 乳児院の里親支援相談員配置とファミリーホームの設置をさらに拡充されたい。

### 2. 児童虐待防止

- (1) 虐待リスクの高い保護者への対策、虐待を繰り返す保護者へのカウンセリング等の支援に取り組まれない。
- (2) こども家庭センターの人員増加と、一時保護所の環境整備を含め、保護された被虐待児へのケアの充実に取り組まれない。
- (3) 児童虐待の情報に対しては、警察との連携等、さらなる機動的な対策を講じられたい。

### 3. その他

- (1) 子ども会・PTAなどの小学校単位で自主的に活動している団体との連携を強

化し、「神戸っ子応援団」事業を全小学校区で取り組めるよう予算増に努められたい。

- (2) DV 被害者の一時保護に係る支援の強化と、シェルターを退出後の就労支援や相談体制の強化に努められたい。

## ◆環境局

### 1. 環境教育の推進

- (1) 気候変動枠組条約や生物多様性枠組条約など、国連の環境関連国際条約を念頭に環境教育を推進し、市民の環境意識を高める取り組みを展開されたい。
- (2) 環境モデル都市の取り組みは、国際的視野にも立って、全庁的に取り組まれたい。
- (3) ワケトンなどを活用し、保育所・学校園における環境教育の実践を強力に推進されたい。
- (4) 自然保護、自然を育てる意識、エネルギーの使用削減などについて、実践活動を通じた環境教育に取り組まれたい。
- (5) 環境を重視した公共交通を優先利用する意識づくりを進められたい。
- (6) KEMS に基づいて市内の全事業所、建物管理者に対し、導入しやすいCO<sub>2</sub>削減の制度や仕組みの構築に取り組まれたい。
- (7) 引き続き、市民に根付いた節電意識を維持できるよう取り組まれたい。

### 2. 地球に優しい自然エネルギーの活用推進

- (1) 低公害車・電気自動車などの導入に対する助成支援の拡大を図られたい。
- (2) 電気自動車の普及促進を図るために急速充電スタンドのさらなる整備を進められたい。
- (3) CASBEE の普及など環境に配慮した建築物の普及促進に努められたい。
- (4) グリーン証書の買取制度の促進に積極的に取り組まれたい。
- (5) 水素社会の実現に向けて、神戸市が先陣を切って進めると共に産官学連携のもと推進されたい。
- (6) 「こうべCO<sub>2</sub>バンク」は、引き続き他都市の先進事例を参考にし、分りやすい事業、参加者のインセンティブ、運営費の確保など、神戸らしい制度の構築に努められたい。

### 3. ごみの減量・資源化推進

- (1) 引き続き、ごみの減量化・排出量削減を目指し、市民啓発に取り組まれたい。
- (2) 排出指導を強化し、分別収集の徹底を地域住民と共に推進されたい。自治会組織のない地域においては、環境局が地域に入り協力要請に取り組まれたい。
- (3) ガラス瓶の資源化量を増やし、循環型社会の構築に寄与するためにも、混合収集選別のあり方等、ビンを割らないための排出・収集・選別・最終処理等の変更を行うなど資源化率向上を図られたい。

- (4) 古紙の資源集団回収は、回収頻度を増やすなど回収拡大に取り組まれない。
- (5) 市民の古着・古布の回収に努め、様々な手法でリサイクルする取り組みを検討されたい。
- (6) 地域の特性に応じた安全な収集体制に取り組まれない。

#### **4. まちの美化推進**

- (1) 地域や企業が行うクリーン作戦に対する活動を支援されたい。
- (2) 清掃活動に際しては、安全体制に努められたい。
- (3) 警察と連携し、不法投棄対策（パトロール強化・啓発看板設置・監視カメラの設置など）を強化されたい。

#### **5. 受動喫煙防止推進**

- (1) 「歩きたばこ禁止条例」地区の拡大と路上喫煙の禁止に向けて啓発に努め、取り組みを強化されたい。
- (2) 喫煙禁止施設や路上喫煙禁止区域外における喫煙マナーの指導に引き続き努められたい。

#### **6. 生物多様性**

- (1) 冬水たんぼなど、具体的に取り組む生物多様性の事業を拡大されたい。

## ◆産業振興局

### 1. 雇用拡大

- (1) 全区役所に就労支援相談窓口を設けられたい。
- (2) 国・県・経済界と連携し、若年者完全雇用に努められたい。

### 2. 企業誘致の推進（神戸エンタープライズプロモーションビューロー）

- (1) 神戸テクノ・ロジスティックパークへの企業誘致を積極的に取り組まれたたい。

### 3. 新産業の創出

- (1) 産業ツーリズムの振興を観光・企業活性化・市民広報など様々な視点で再考し、民間企業と連携して、神戸市が主体的に取り組まれたたい。
- (2) 地元企業の保有する高度なものづくり技術と、神戸市の管理運営技術とを連携させた官民連携ビジネスの海外展開を積極的に推進されたい。
- (3) 「おとな旅」のメニューをさらに充実すると共に、実施範囲も市内全域に拡大するよう取り組まれたたい。

### 4. 中小企業支援

- (1) 中小企業への融資制度は、ニーズに応じた利用しやすいものとなるよう適宜見直しされたい。
- (2) 地場産業の活性化を図るため、新しい製品展開や、新規市場開拓を積極的に進められたい。
- (3) 神戸経済の活性化と中小企業の海外展開の支援のため、ASEAN 地域等でビジネスサポートセンター創設の検討を行われたい。
- (4) 商店街・市場等の新しい担い手の創出や地元の発意への支援、情報提供に引き続き取り組まれたたい。
- (5) 地元企業のものづくり技術の高度化に資するため、さらに中小企業に対する利活用促進策に取り組まれたたい。
- (6) ITベンチャー企業と神戸の強みである医療産業やファッション産業がコラボレーションできる仕組みづくりなどに取り組まれたたい。
- (7) イオンモールの中央卸売市場本場西側跡地の開業延期については、地域住民・商業者にも丁寧に説明の上、混乱なきよう取り組まれたたい。

### 5. 観光政策・観光コンベンションの推進

- (1) 観光政策の一つとして、外国人旅行者の買い物の便利性を高めるため、免税

店の拡充に努められたい。

- (2) 飲食店情報サイトについて、観光施策として関係業界と連携するなど神戸の伝統商品や新商品をもっと売り出すことを検討されたい。
- (3) 観光バスの駐車場を整備されたい。
- (4) 須磨海岸での観光漁業に積極的に取り組まれたい。
- (5) ムスリム観光客の誘致に向け、旅行社、レストラン、ホテルなど民間事業者と行政が、一体となって取り組まれたい。
- (6) 夜景サミット開催を機に新たなアイデア等で、観光資源としての夜景の価値を高め、滞在型観光客の誘致を図られたい。
- (7) 神戸ルミナリエについては、開催期間を短縮するなどして開催されているが、継続して実施できるようさらに財政の見直しをされたい。
- (8) 神戸フィルムオフィスを積極的に活用し、ロケ地として優位性のある神戸への映像プロジェクト誘致を増やすことで、ブランドイメージの向上、観光客の誘致に取り組まれたい。

## 6. 農畜産業と漁業

- (1) 農畜産・漁業の六次産業化に積極的に取り組むと共に「神戸ブランド」づくりに取り組まれたい。
- (2) フルーツフラワーパークを農業振興の拠点として活かし、農畜産物の生産振興や担い手の育成、農業への新規参入者の支援を図られたい。
- (3) 不耕作地対策と就労支援の一環として、貸農地などの情報共有化を図り農地の流通促進に努められたい。
- (4) 「農村活性化プロジェクト」での検討をふまえ、耕作放棄地の解消に向けた実効性のある農業振興策を講じられたい。
- (5) 中学校給食も始まったことから、地産地消の拡大として農産物の学校給食へのさらなる使用拡大を図られたい。
- (6) 有害鳥獣の被害防止策を、自然等と共生の視点も含め、さらに強化されたい。
- (7) 高齢化や離農により放置されている農業用ため池について安全対策に努められたい。
- (8) 本市漁類販売・流通関係団体の将来を見据えた神戸フィッシュミール工場を核とした市内魚類廃棄物の自己完結処理体制の構築・支援を図られたい。
- (9) ジビエ料理について、兵庫県と連携し神戸市内での推進・拡大に取り組まれたい。



## 7. まちづくり

- (1) 神戸市と新潟県及び有馬温泉と内湾温泉との連携、交流を図り、産業の活性化、観光振興の支援策に取り組まれない。

## 8. その他

- (1) 地場産業を核とした、特に海外における神戸の物産展を拡充されたい。

## ◆建設局

### 1. 河川整備と管理

- (1) 河川の改修について現在、残っている河川改修は早期に取り組みたい。また、昨今のゲリラ豪雨・長雨対策について、既に施行実施の河川も含め、再点検を行われたい。

### 2. 道路整備と管理

- (1) 国道175号線の平野拡幅・神出バイパスの早期完成に努められたい。
- (2) 第二神明道路北線の永井谷以西の早期完成に取り組みたい。
- (3) 六甲トンネル有料道路の割引時間帯の拡大と無料化に向けて取り組みたい。
- (4) 神戸市有数の観光地である掬星台へのアクセス道路と、摩耶ビューラインへの駐車場整備を検討されたい。
- (5) 垂水警察から地下鉄学園都市駅間の渋滞解消に向け、早期の対策を講じられたい。
- (6) 市場商店街の商店の前の道路に商品を並べることをやめさせるよう取り組みたい。

### 3. まちの安全

- (1) 昨年に引き続き、今年度もまた台風11号による土砂災害が多発している。イエローゾーンのチェックと併せ、有識者会議の再招集など検討し、早急に防災対策と整備計画を策定し、安全を確保されたい。
- (2) 観光・集客施設周辺には、バスやタクシーの停車・駐車スペースを確保されたい。公共交通を活用した移動手段を柱に、渋滞緩和やCO<sub>2</sub>排出削減、安全な移動などを考慮した取り組みを進められたい。
- (3) 公共インフラ設備の老朽化更新については、不具合事象を分析・管理し、情報の共有化及び計画性のある更新事業に繋げられたい。
- (4) 照明灯維持管理については、計画的に更新整備されたい。
- (5) 自然災害による民地の土砂崩れなどの復旧にあっても、行政が支援策を講じられたい。

### 4. 公園整備と管理

- (1) 小学生の軟式野球やソフトボールなど多目的グラウンドの整備を進められたい。
- (2) 硬式野球ができる球場を整備されたい。
- (3) 地域の公園について、草木や照明の整備や遊具の点検など子供が安全に遊べ

- る環境づくりや、中高年の健康づくりに向けて「健康遊具」の整備をされたい。
- (4) 街路樹や公園の剪定枝は、効率よいリサイクル方法を検討し、資源循環に努められたい。

## 5. 王子動物園の活性化

- (1) 王子競技場の地下利用や自走式駐車場を整備するなど抜本的な駐車場対策を講じられたい。
- (2) 王子動物園のホールは、動物園の中に位置し、音響設備も整備されている。夏冬の利用客減の折に特に様々な活用を検討されたい。
- (3) 種の保存のため、また他友好都市との交流のシンボルとして、動物の交換を検討されたい。
- (4) 遊園地エリア老朽化への対応や、動物展示の工夫など検討されたい。

## 6. 六甲山整備

- (1) 平成26年台風、平成27年台風の災禍を検証し、民有林も含め、六甲山の間伐などによる整備や道路整備（側溝）について、国・県連携したチームで、計画的・戦略的に進められたい。
- (2) 早急な平成27年台風11号被害の復旧を図られたい。（西六甲ドライブウェイなど）

## 7. 下水道

- (1) バイオガスをはじめとする汚泥の利用や、食品廃棄物との連携、リンの回収など、先進的な取り組みにより、一層の循環型社会を目指されたい。熱利用も検討されたい。
- (2) 有酸素処理時の省エネ開発に取り組まれたい。

## 8. 広報

- (1) 老朽化施設の現状や維持・更新の取り組み、財政計画などを市民にわかるように広報されたい。

## ◆住宅都市局

### 1. 神戸のさらなる飛躍に向けた都心の再生

- (1) 三宮駅周辺地域の再整備については、明確な将来ビジョンを持って、「神戸の顔」を魅力ある、風格あるものとするべく民間と一緒に進め、「デザイン都市・神戸」のシンボルとして早急に構想を具体的な計画へと進められたい。
- (2) ESTの導入について実現性の検討が行われているが、回遊性の向上、公共交通優先のシステム構築など、地球に優しく人に安全な移動手段づくりに取り組まれたい。

### 2. すべてのひとにやさしい交通網の整備

- (1) 大阪湾岸道路西伸部の早期着工と高速道路網ネットワーク整備に取り組まれたい。
- (2) 車両増強だけで補いきれないポートアイランドや空港島への総合的交通アクセス改善策を早急に検討されたい。
- (3) 地域特性やニーズに応じた地域の暮らしを支える交通環境の形成を図られたい。
- (4) 神戸電鉄粟生線活性化協議会が進める活性化策も含め、沿線地域住民の理解と利用促進が図れるように継続的な取り組みを進められたい。
- (5) 北神急行電鉄の抜本的な見直しを行い、料金の低減化を図ると共に、乗降客数の増加に向けた総合的な地域活性化策を講じられたい。
- (6) シーパスインの利用範囲を三宮駅まで拡大すると共に、IC化について検討されたい。

### 3. 人口減少社会をみすえた神戸のまちの再生と安全な都市基盤の構築

- (1) 老朽危険家屋対策を具体的に進められたい。
- (2) 空き家の発生予防の観点から中古住宅の活用を積極的に進められたい。
- (3) 住宅耐震化率の向上に繋がるよう制度の周知を図られたい。
- (4) 災害公営借り上げ住宅については、返還に向けて個別丁寧な対応で取り組まれたい。
- (5) 市営住宅の募集にあたっては、住宅困窮度の高い世帯に対してさらなる配慮をされたい。
- (6) 公営住宅の障がい者グループホーム（ケアホーム）への活用の拡充と共に、事業委託にあたっては、社会福祉法人・NPO及び任意の団体に一定の条件の下、運営できる方策を検討されたい。

- (7) 精神障がい者が地域に生活拠点を求める場合には、その住まいの確保に公営住宅の提供を検討されたい。
- (8) 密集市街地再生方針に基づくまちづくりを順次進めると共に、市内各地に点在する密集市街地の洗い出しをされたい。
- (9) CASBEE（建築物環境総合性能評価システム）神戸の普及に努めると共に、中古ビル・オフィスの環境性能評価の見える化に積極的に取り組まれたい。
- (10) 大規模開発されたニュータウンについては、官民連携で魅力あるまちへの再生に向け、早急に具体的な計画を立て、順次推進されたい。

#### 4. 神戸らしい多様なまちの美しさを活かした魅力づくり

- (1) フラワーロード、ハーバーランドに続いて、各局連携を図り「光の都」神戸推進のため夜間景観形成の魅力アップづくりに取り組まれたい。
- (2) まやビューラインについては、夜間景観を活かす時間帯に運行し、さらなる利用促進に取り組まれたい。
- (3) 夜景景観を楽しめる視点場へのアクセスを確保し、滞在型観光に繋げられたい。
- (4) 「デザイン都市・神戸」にふさわしい景観形成に取り組む企業団体・地域への助成制度を拡充、広報されたい。
- (5) 都市計画マスタープランに基づき、さらにまちづくり協議会の設置拡大と活動支援の強化を図り、協働と参画の推進に努められたい。
- (6) 安全・安心なまちづくりに向けて「灯かりのいえなみ協定」を推進されたい。
- (7) 市有地跡地の活用については、まちの新しい魅力作りに資する計画をされたい。
- (8) 景観形成重要建築物などの制度拡充を活かし、神戸に現存する歴史的文化的価値のある建物の保存活用を積極的に図られたい。
- (9) 歴史ある兵庫運河の活性化については、観光客誘致やインナーシティの課題解決に繋がる施策を、他局と連携して取り組まれたい。

## ◆みなと総局

### 1. 神戸港

- (1) 都心・ウォーターフロント空間は、神戸らしさを持つ「光の都」神戸の玄関口にふさわしい「海からの光・夜景」の創出に取り組むと共に、親しみのもてる港となるよう親水空間の利用促進に努められたい。
- (2) 観光クルーズ船誘致のため、発着クルーズ船誘致に向けた取り組みを強化されたい。
- (3) 神戸港・大阪港両埠頭の合併メリットを活かし、取扱貨物量の増加を図り、日本海側・内陸からの阪神港への集荷の推進のため、インランドポートの事業化を推進されたい。
- (4) 阪神港国際コンテナ戦略港湾づくりを核とし、港湾におけるCO<sub>2</sub>排出抑制をする陸上電源の整備を図られたい。
- (5) 国際コンテナ戦略港湾として、国の出資もされ国策として進められている阪神港に、取扱貨物量の増大する九州圏からの集荷が図られるよう取り組まれたい。
- (6) 新港突堤については、それぞれに特徴付けを行い親しみのもてる港にし、賑わいの創出を図る取り組みを進められたい。
- (7) 須磨海岸について、四季折々の自然を体感できる観光漁業やマリンスポーツが楽しめる環境を整備し、一年中家族連れで賑わう親水ゾーンとなるよう取り組まれたい。
- (8) 須磨海岸沿い遊歩道について、自転車道・ランニングコース・歩道を整備し、距離表示やルート案内板を設置するなど、神戸マラソンコースから海岸へ誘導する工夫をされたい。
- (9) 船員に対する政策減税については、船員の確保対策も含め、税務当局へ要望趣旨の徹底と実現に向けて取り組まれたい。

### 2. 神戸空港

- (1) 神戸空港の規制緩和等に引き続き全力を挙げると共に、ビジネスジェットの受け入れ空港として働きかけられたい。
- (2) 来年の主要国首脳会議・保健大臣会合の開催地に決まった神戸として、国際便の就航、CIQ管理体制の整備などを国に強く要望されたい。
- (3) 関西国際空港と伊丹空港のコンセッションの動向もにらみながら、三空港一体運用に向けた働きかけを強化されたい。
- (4) 海上アクセスについては、外国人観光客が増加傾向にあることから、関西国際空港からのインバウンド誘致に利用するなど、乗船客数の増加に努め、神戸

空港が目的地となるよう集客ツールを充実されたい。

### **3. 土地処分・企業誘致**

- (1) 空港島・産業団地の分譲、住宅団地の分譲促進に努められたい。特に、売却可能産業団地として唯一残るテクノ・ロジスティックパークのより一層の土地売却推進を行い、立地特性を活かした駐車場・駐輪場など働きやすいツールを充実されたい。

### **4. その他**

- (1) ハーバーハイウェイのETC化促進のため、阪神高速会社と連携する中で、積極的に推進されたい。

## ◆消防局

### 1. 消防・救急救命体制

- (1) 「ステーション方式」の運用実績を検証し、必要な他地域への導入を検討されたい。
- (2) 複雑多様化する大規模災害を想定したスーパーイーグルこうべとブルーキャットの新たな技術レベルの向上と人材育成に努めると共に、特殊災害やテロに備えた特殊機材の拡充整備を順次図られたい。
- (3) 消防管制システムの運用状況・実績を検証し、必要な新機器導入に対応されたい。
- (4) 救急救命士を計画的に養成し、人的確保等拡充を図られたい。

### 2. 地域防災

- (1) 防災福祉コミュニティに団塊の世代や若年層が活動に参加しやすい仕組みをつくり、地域の安全を支える人材育成を支援されたい。
- (2) 女性救急救命士を全署に配置できるように配慮されたい。
- (3) 女性消防団員を増やすよう努力されたい。
- (4) 市民の防災への体験と意識づけ強化に向けて、地域と密着した各消防署に加えて、市民防災総合センターの機能の充実を図り、市民が気楽に体験できる体制づくりに取り組まれたい。

### 3. その他

- (1) 消防局職員 OB の地域活動参加を積極的に促されたい。
- (2) 地域への広報活動に消防音楽隊をさらに活用されたい。
- (3) レスキューロボットの開発にあたっては、官民連携で推進されたい。
- (4) 震災経験の伝承のために神戸市民防災の日1.17の取り組みを充実されたい。
- (5) 技術の進歩に遅れることなく、各消防署の指令命令系統に係る情報機器の更新整備を図られたい。
- (6) 殉職死をなくすため、職員の安全確保を図りながら活動計画を策定されたい。



## ◆水道局

### 1. 千苧貯水場の治水活用

- (1) 兵庫県から申し入れのある千苧貯水池の治水活用については、断水・時間給水など市民に迷惑や負担を強いることがあってはならず、水道事業の経営に影響が及ぶことがないよう細心の注意を払って対応されたい。

### 2. 安全でおいしい水の提供

- (1) 県民緑税を活用し、水源保全用地等への植林を進めるなど水質管理体制を強化されたい。
- (2) 水源保全用地の取得率を高め、水源保全対策に取り組まれたたい。

### 3. 健全経営

- (1) 水道局の保有する水管理技術を民間企業や経済団体と連携して、水ビジネスの海外展開に参画し、国際貢献を目指し、また、周辺自治体の水道維持のニーズにも対応されたい。
- (2) 次世代水道システムの情報集約などに努め、導入について検討されたい。

### 4. 設備

- (1) 低炭素社会を目指し、省エネや新エネルギーの視点に立って千苧貯水池・布引・羽束川・波豆川・配水池等、水力発電の設置など設備投資を検討されたい。
- (2) 水道工事の繰り越し・不用を低減できるよう、入札不調を防ぐための手立てを講じるなど、必要な工事が実施されるよう取り組まれたたい。

### 5. 水の科学博物館

- (1) 「環境教育」の一環として活用されるよう、設備の充実と一般来館者用の駐車場整備に努められたい。

### 6. 広報

- (1) 老朽化施設の現状や維持・更新の取り組み、財政計画などを市民にわかるように広報されたい。
- (2) 「水道水がおいしい」という広報や、大容量送水管の整備完了など、広報の実績ではなく、市民への周知度を指標として取り組まれたたい。

## ◆交通局

### 1. 安全性の確保

- (1) 地下鉄のホームの安全確保対策として転落防止柵（ホームドア）の設置に早急に取り組まれない。

### 2. 乗客増対策、収入増対策、利便性サービス向上

- (1) 地下鉄海岸線の乗客増対策については、沿線のまちの活性化に繋がるよう取り組まれない。
- (2) 地域密着型のコミュニティバスの運行など市民ニーズに柔軟に対応されたい。
- (3) 地下鉄のホームにモニターを設置するなど映像や音声を効果的に取り入れたタイムリーな情報発信を検討されたい。
- (4) 地下鉄名谷駅前バスターミナルのリニューアルを計画されたい。
- (5) バスの待合所・停留所の環境について、熱中症防止などの観点からもできる限り快適に過ごせるよう見直されたい。

### 3. その他

- (1) 低炭素社会づくりを目指す総合交通体系の推進と併せた取り組みを展開されたい。
- (2) 福祉体験授業など今後も他局と連携し、広報・発信に取り組まれない。
- (3) 安全運行の遵守などに努められたい。
- (4) 交通政策基本法の成立を受けて市民の足を守るため、バス路線のあり方など施策を推進されたい。
- (5) 次期計画作成時には、他都市でも採用されているシンクタンクの活用も視野に入れ、新しいアイデアや住民ニーズを引き出せる取り組みを行われたい。

## ◆教育委員会

### 1. 子供たちの安全確保

- (1) 空調設備の未設置校を解消し、学校現場の教育活動に支障をきたすことのないよう配慮しながら計画的に実施されたい。
- (2) エレベーター設置・トイレ改修・段差解消・設備のユニバーサルデザイン化など、災害時の避難場所となる学校づくりを引き続き進められたい。
- (3) いじめ・不登校問題に対応するスクールカウンセラーを全校に配置されたい。

### 2. 学校教育の充実

- (1) 「学びの基礎学力向上推進補助員」の加配を行い、複数指導できるようさらに拡充されたい。
- (2) 学校司書の早急な全校配置及び、学校図書館図書の新書購入を充実されたい。
- (3) ICT機能の充実・環境整備を行い、最先端の授業活用の構築に努められたい。
- (4) 中学校の部活動では、さらに外部指導員及び、特別外部指導員の拡充などで活性化に努め、生徒にとって選択幅が広がるよう部活数の確保に努められたい。
- (5) 必修武道や部活動指導など、教育・地域連携センターによるさらなる地域人材の活用を積極的に進められたい。
- (6) 夜間中学校の給食を早期に再開されたい。

### 3. 特色ある神戸の教育推進

- (1) 少人数指導・複数指導を小・中学校全学年に拡充されたい。
- (2) 「神戸っ子応援団」の取り組みは、コーディネーターの研修等を行い、こども家庭局・教育委員会・区役所が一体となって地域の活動をさらに支援強化されたい。
- (3) スクールカウンセラーの配置日数増を行い、緊急時の学校への特別配置を講じられたい。
- (4) スクールソーシャルワーカーの配置を増強されたい。
- (5) 英語教育はALTの中学校及び、小学校の指導時間数・派遣回数について拡充されたい。
- (6) 小学校英語活動の推進のためには、研修の充実、人材増、指導時間数増を検討されたい。
- (7) インクルーシブ教育の実現に向け、多様なニーズに対応できるよう「特別支援教育支援員」や専門的な支援員の配置日数・人材を拡充されたい。
- (8) 特別支援学校生徒の就労については、就業訓練を始め企業・ハローワーク・

就労推進センター等と連携し、就職先を確立されたい。

- (9) 帰国子女・外国籍生徒については兵庫県などと協力のもと、サポート体制と卒業後の進路指導の充実にさらに努められたい。
- (10) こうべ学びの支援センターの相談体制のさらなる人的強化に努められたい。
- (11) 生徒指導担当教員を加配されたい。

#### **4. 教職員の職場環境**

- (1) 教職員の資質向上のための教科研究活動や教職員研修、国際視察研修を実施し、必要な予算を確保されたい。
- (2) 教職員のメンタルヘルスの予防対策を進め、休職者の職場復帰に向けた体制を充実されたい。

#### **5. 食育の推進**

- (1) 学校給食の食材については、地産地消率向上と食育推進に取り組まれたい。
- (2) 学校給食向けに市が生産奨励している野菜について、重量・形状等が規格から外れたもののさらなる有効活用を検討されたい。
- (3) 中学校給食への市内産（地産地消）農畜産物導入について、関係方面に働きかけられたい。

#### **6. 高等学校振興**

- (1) 定時制・通信制高校への通就学を保証するよう関係方面に働きかけられたい。
- (2) 定時制高校については、昼間部を拡充されたい。
- (3) 北神地区の高等学校新設を検討されたい。

#### **7. 学校施設の整備**

- (1) 児童生徒が急増すると見込まれる地域の校舎整備を引き続き計画的に進められたい。
- (2) 保健室の整備は、養護教諭の意見を反映されたい。
- (3) グランド運動場の整備改修をされたい。

#### **8. スポーツ振興**

- (1) 小・中・高校生が参加する各種大会の運営予算の拡充を図られたい。
- (2) 教職員の休日勤務時間外を含めたスポーツ活動指導に関わる人材補強体制を構築されたい。
- (3) 「神戸総合型地域スポーツクラブ」「小学校スポーツ協会」「少年団活動」につ

いては、家庭・地域社会の教育力の活用であり、さらなる予算増を図りたい。

- (4) 熱中症対策に具体的な指針を策定し、管理職及び指導者に周知されたい。
- (5) 国際理解教育の一環として、外国とのスポーツ交流を進められたい。

## 9. その他

- (1) 神戸市立垂水・青陽西養護学校の跡地活用については、垂水区住民及び近隣の団体等からの要望等を参考に跡地活用の検討を行われたい。

## 県との連携

- (1) 新長田新庁舎建設を踏まえ、県市の行政分野について今後さらに協調路線を拡充し、取り組みに努められたい。
- (2) 主要国首脳会議の神戸開催の実現に向け兵庫県と協調し、官民一体となって誘致活動に取り組んだことにより、神戸で保健大臣会合の開催が決定した。今後も兵庫県と連携し、東京事務所を含め、さらなるコンベンションの誘致活動に努められたい。
- (3) 神戸港開港150年を迎えるにあたり、神戸の夜景やポートアイランドをはじめ、港の紹介といった発信事業を早急に取り組むと共に、関西3空港一体運営による神戸空港の利用率向上に向け、兵庫県と関西広域連合、商工会議所の連携強化を図られたい。
- (4) 近年多発している異常気象による集中豪雨や、南海トラフ地震に伴う津波などの浸水で市民生活や経済に影響を与えないよう防災・減災対策を兵庫県と連携し、万全を期されたい。
- (5) 政令市への給与負担移譲について、県費学校事務職員は県行政給料表が適用されている。権限移譲後は、学校事務職員の採用のあり方等も含め、検討・協議を今後もされたい。
- (6) 労働行政について、生活困窮者自立支援事業及び障害者総合支援法等に関係する就労支援事業を円滑に行うため、労働行政の権限等を神戸市に委譲がなされるよう兵庫県と今後も協議されたい。
- (7) 県補助事業及び県市協調事業の継続とさらなる支援拡充に努められたい。
- (8) ヒートアイランド現象の緩和に向けた芝生化や屋上緑化などの事業推進に対して、県民緑税の活用を図り、都心緑化や土砂災害防止対策が急がれる六甲山系にさらなる配分がなされるよう支援拡充に努められたい。
- (9) 大阪湾岸道路西伸部は兵庫県・関係機関と連携し早期事業化に取り組まれたい。